

小児薬物療法検討会議
ワーキンググループ(WG)について

1. 報告書に記載されるエビデンスのレベルや報告書の記載ぶりを統一する必要があること等から、全ての報告書について内容のチェックを行うメンバー(コアメンバー、3~4名程度)を置くとともに、個別報告書を作成した先生(1~数名)をその都度呼んで、検討を行うこととする。WGには審査管理課担当者その他、安全対策課、医薬品医療機器総合機構からも必要に応じて会議に出席する。
2. コアメンバーとしては、医薬品の承認審査経験がある先生や抗がん剤併用療法に関する検討会にて報告書を作成した経験のあるメンバーとする。また、コアメンバーの中から座長を選出する。
3. WG コアメンバー (◎ : 座長)
 - ・ 土田 尚 先生 (国立成育医療センター)
 - ・ 中川 雅生 先生 (国立大学法人滋賀医科大学)
 - ◎・ 中村 秀文 先生 (国立成育医療センター)
 - ・ 牧本 敦 先生 (国立がんセンター中央病院)

(下線は、小児薬物療法検討会議の構成委員を示す)

4. WG の開催状況について

平成 18 年 11 月 14 日	第 1 回 ワーキンググループ
平成 18 年 11 月 27 日	第 2 回 ワーキンググループ